

○遠野のポニー

ポニーとは体高 148cm 以下の馬のことです。遠野ではスポーツホースの生産と併せて、ポニーの生産をする個人牧場もあります。身体は小さくても彼らの存在はとても大きいそうです。そんな遠野のポニーたちをご紹介します。



じゃれあう1歳馬同士

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.88

2024年3月1日

○ポニーのお役目

ポニーといえば、小さくて愛らしく子供たちにも大人気。けれども意外と気が強く頑固、そして自己主張もはっきりしています。そんなポニーたちは、親子馬や若馬たちのボディガード、子馬たちのおもり役、元気あふれる子馬の遊び相手など、いろいろなところで大きな役目を果たしています。

撮影協力：附馬牛セイユウファーム



厩舎仲間を守るボディガード(荒川高原)



離乳したばかりの子馬のお供



母を亡くした子馬の乳母

春、ポニーの雄は繁殖活動をしします。それによって生産者は、ほかの繁殖牝馬の発情の確認ができるといいます。ポニーの雄は、種牡馬であると同時に「あて馬(注)」の役割を果たしているようです。けれどもポニーの一番の魅力は、私たちが笑顔にしまうことでしょうか。やはりポニーは可愛い！

写真下：生後1か月未満のポニーの子ども(2枚とも)



写真上：子連れの牝馬に求愛する牡馬

(注) あて馬：

交配直前の牝馬の発情を確認するために使われる牡馬のこと